

令和 7 年度 学校自己評価アンケート まとめ

1 生徒のアンケート結果から（236 名の回答）

※％で表示されている数字は、回答 236 名に対する、「当てはまる」、「少し当てはまる」の合計人数の割合です。小数点以下は四捨五入しました。

（1）授業について

アンケート内容	
・授業は、問いをもち、解決に向けて見通しをもって取り組めるものになっているか	9 2 %
・自分は、自分は、問いをもち、解決に向かって見通しをもって取り組んでいるか	8 8 %
・授業は、生徒の問いを考えたり話し合ったりしながら解決する場面が設けられているか	8 7 %
・自分は、問いについて、考えたり友と話し合ったりしながら解決しているか	8 6 %
・その授業は、学びの成果や課題を振り返るための「振り返り」や「まとめ」の時間が設けられているか	9 1 %
・自分は、まとめや振り返りを通して、次の授業への意欲をもつことができているか	8 6 %

本年度大事にしている「問いをもつ」という点を中心に、「当てはまる」「少し当てはまる」と回答した生徒が 8 5 % を越え、行われた授業も、生徒たちの意識も、問いをもち、考えたり話し合ったりしながら解決し、授業を振り返ったりまとめたりするということが概ねできていると言えます。今後も、学校職員は生徒と一緒に「問いをもつ」ことを大事にした授業づくりをしていきます。

また、生徒たちの記述から、

- ・授業時間の規律の確認と指導、時間の使い方について
- ・クロームブックの使い方について

など、取り組んでいくべき課題も職員全体で確認しました。特に、クロームブックの使い方については、4 月に、文房具の一つとして活用していくことを生徒に話し、使用しましたが、休み時間、授業時間問わず、適切でない使用の様子がありました。6 月に生徒に行った学校評価アンケートで、生徒たちからも、休み時間、授業時間にゲームをしている、授業に関係のない動画を見ているなど問題点が指摘されていました。アンケートの結果を受け、各学年で使い方について学年集会を行って学年全員で考えたり、指導を続けたりして改善してきていますが、一部指導が必要な様子が見られるため、現在も指導を続けています。

（2）学校生活について

アンケート内容	
・自分は、気持ちの良い挨拶(あいさつ)・会釈(えしゃく)・返事ができている。	9 2 %
・自分は、気づきを大切にしたり清掃をし、無言清掃を行っている。	8 6 %
・自分は、クラスや学年の合唱で自分のもてる力を出して歌っている。	8 7 %
・自分は、靴そろえをしている。	9 7 %
・自分は、生徒会活動に積極的に関わり、委員会活動などよく取り組んでいる。	9 2 %
・自分は、友の良さや多様性(たようせい)を認め、仲間を大切にしている。	9 9 %

二中学生会で大事にしている四つの柱「挨拶、清掃、合唱、靴そろえ」を中心に、概ねできていると感じている生徒が多い結果になりました。特に、靴そろえについては高い数値になっています。一方で、自分から挨拶ができていない生徒や、一人となり集中して清掃に取り組めない生徒もいます。目指す姿を生徒とともに考えていく活動が必要だと考えられます。

2 保護者のアンケート結果から（127 家庭からの回答）

※小数点以下を四捨五入しており、合計が 100% でないこともあります。

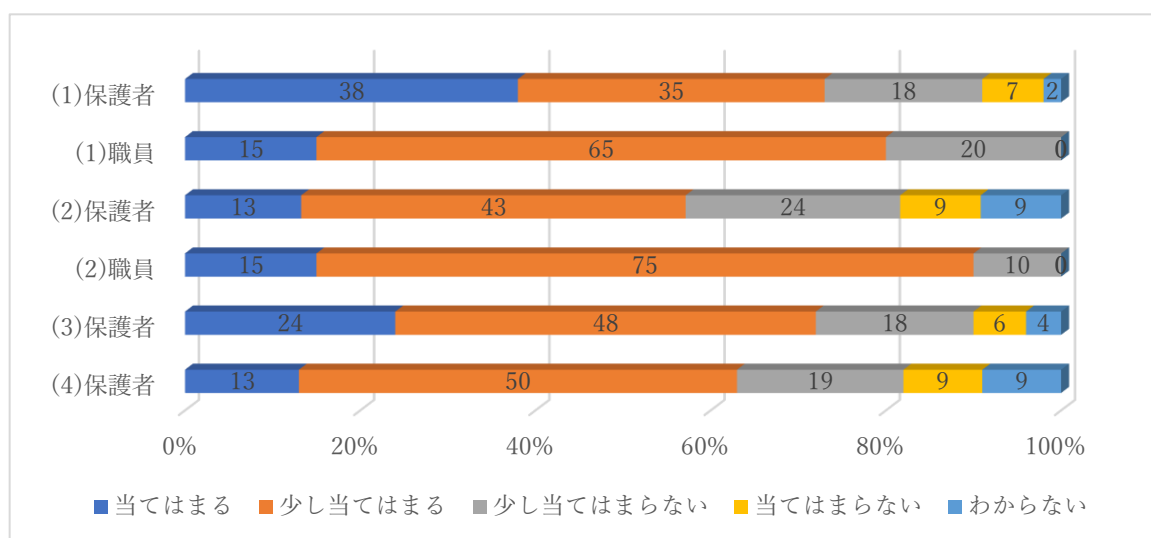
（1）生徒が「学校が楽しい」と感じる学校になっていると思いますか。

※（1）、（2）については職員のアンケート結果のグラフも併記します。

（2）生徒が「学習ができた、わかった」と感じる学校になっていると思いますか。

（3）生徒が活躍し、生徒が輝ける学校になっていると思いますか。

（4）生徒が将来あるべき姿を思い描き、それに向けて努力することができていますか。



（1）では70%以上が「当てはまる」、「少し当てはまる」と回答しているのに対し、（2）では「当てはまる」、「少し当てはまる」の回答は56%であり、概ね楽しく学校に登校できているが、学習に関しては「できる、わかる」に到っていない部分もあるという結果になっています。グランドデザインにあります重点目標2の「探究的な学びで自ら学びとる二中ラーニング」を目指し、定期テストや学力調査の結果から、生徒一人ひとりの学習状況を把握し、具体的な支援を考えるとともに、生徒が主体的・自立的に学んでいけるような個別最適な学びと協働的な学びの一体化をさらに充実させていきます。

その他、第二中学校の教育について、アンケートで様々なご意見をいただきました。

①授業規律について

学級全体に、あるいは個別に指導を続けています。「問いをもつ」授業の構築とともに、学校でのマナーを意識した生活について指導を続けていきます。

②家庭学習について

自ら課題を発見し、自ら解決していく力を育むために、習得型の家庭学習で学びの基礎となる知識・技能を身につけつつ、活用型の家庭学習で思考力・判断力・表現力等を育成していきたいと思います。また、

反転授業を取り入れるなどして、授業と家庭学習を連関させ、家庭で学んだことを授業で生かせるようにしていくことで、生徒の学習意欲を高めていきたいと思います。

③クロームブックの使い方について

クロームブックは、授業、生徒会、その他学級・学年活動で活用しています。生徒たち同様、保護者アンケートにもご心配いただいていることについて記載がありました。上田市から購入していただいたクロームブックを、学校活動に効果的に使用方法や使用可能な範囲については、今後も生徒とともに考えていき、ルール作りをしていきたいと思います。

④部活動の地域クラブへの移行について

上田市が、令和9年度から全ての部活動を地域クラブ活動に移行することを目指して推進している事業です。各部活動がスムーズに移行できるように、受け皿の開拓、ルール作りなど、上田市で計画を立て、進めていますので、二中としても協力しながら地域移行を進めていくことになります。

地域の皆様、保護者の皆様に支えられながら学校運営に取り組むことができました。ありがとうございました。